

鉄道から、エコの芽すくすく。

鉄道として、地球に暮らす一員として、今できることは何だろう。
 そんな思いを胸に、JR西日本では、地球環境保護に全力で取り組んでいます。
 その一つが、社員一人ひとりが身近にできるエコロジーについて考え、
 家庭や職場で実際に行動する「考動エコ」。
 小さな力が、地球にとって大きなやさしさとなることを信じて、
 身の回りからエコの芽を育て、理想の未来へと夢をふくらませ続けます。

ずっと、青い空と走るために。

新幹線の省エネ運転推進

- 車体をステンレスにして塗料の使用を削減
- 二重ガラスで断熱効果アップ
- 地域の環境活動に積極的に参加
- 事務用品は社員で共有
- エコ製品を買う
- 通勤には公共交通や自転車を利用
- 資源の使用量削減、再利用、再資源化
- 清掃用の布のレンタル化で産業廃棄物削減
- 工事などで生じた残土は有効利用
- 扇風機利用でエレベーター消費電力を減らす
- 「FICOCA」できっぷの使用量削減
- 新や列車から発生したごみのリサイクル
- 廃油のリサイクル
- ガス・水道・電気など使用量の「見える化」で削減推進
- 屋上緑化
- タイヤは適正な空気圧に
- 食品ごみのリサイクル
- 乗車券と特急券を一枚に
- 廃部や設備は大事に使用
- 列車シートの詰物をリサイクル可能な材質に変更
- コンクリートまくらぎの再利用
- 夏は28℃、冬は20℃のエコ温度
- J-WESTカードご利用のお客様にカーボンオフセット特典利用の呼びかけ
- 待機電力をカット
- 出張もエコ移動
- 木まくらぎのコンクリート化
- 満き水を利用して暖上冷却
- 節水
- OA機器の待機時消費電力を減らす
- 電球や蛍光灯などを省エネ型に
- 線路の線巻用のゴムパッドをチップ化して再利用
- 産業物は分別して資源化
- 風呂の残り湯は洗濯に
- 不要な照明はこまめに消灯
- テレビは、マイナス1時間
- シャワーは手早く
- ボトルキャップを集めてワクチン購入に貢献
- 定時退社で電力カット
- 古木まくらぎの薪火材としての利用
- ふんわりアカセル、エコドライブ
- 風呂の残り湯は洗濯に
- 不要な照明はこまめに消灯